

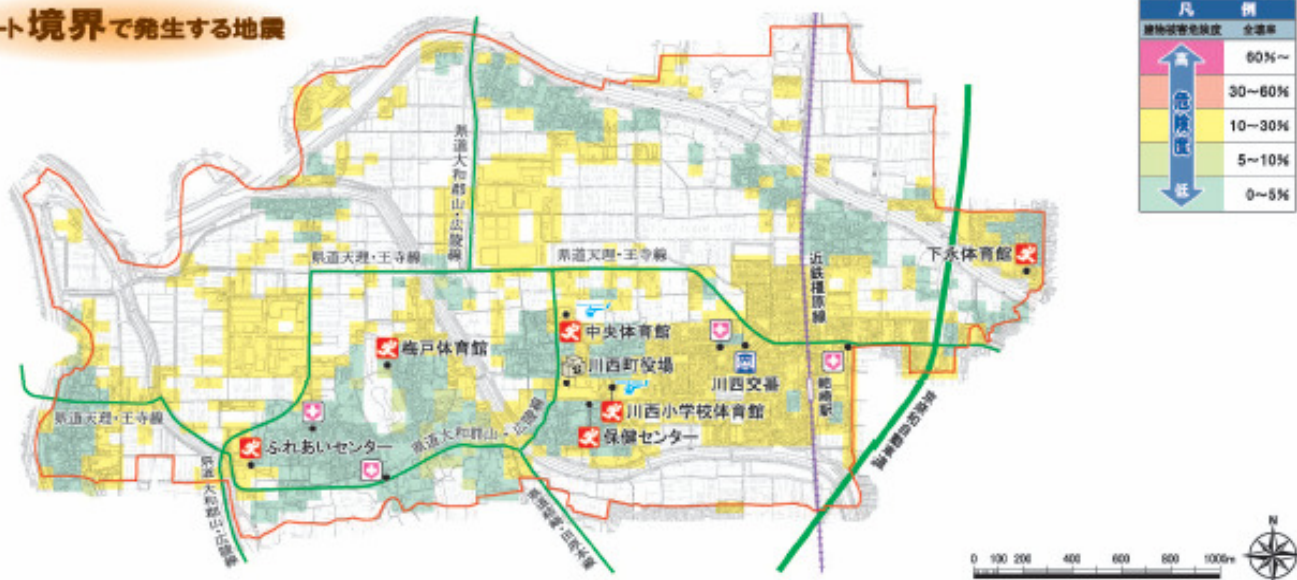
建物被害危険度マップ

このマップを使って、こんなことを確認してください。

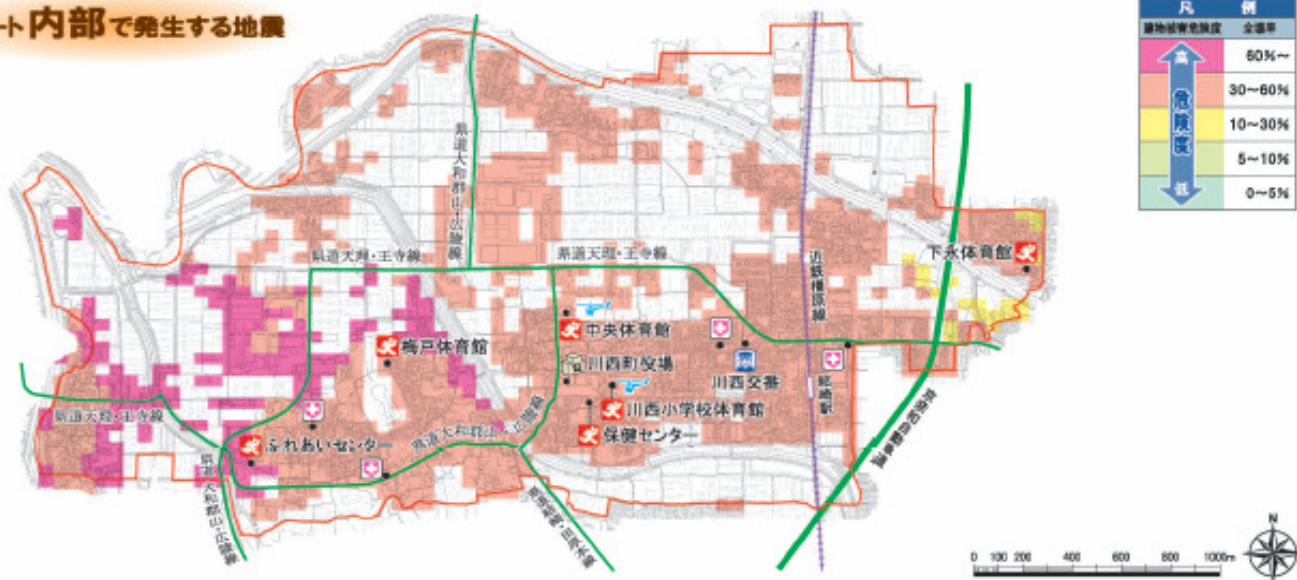
- 自分の家や近所の危険度はどのくらいか
- 通っている職場などの危険度はどのくらいか

この危険度マップは「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を表しています。危険度は1辺約50mのメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合を相対的に示しています。危険度が高くなるほど、その地域で全壊する建物の割合が高くなります。

プレート境界で発生する地震



プレート内部で発生する地震



震度階級表

震度 0 人は揺れを感じない。	震度 5弱 多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は行動に支障を感じる。
震度 1 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	震度 5強 非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱が破損するものがある。
震度 2 屋内にいる人の多くが揺れを感じる。眠っている人の一部が目覚めます。	震度 6弱 立っていることが困難になる。
震度 3 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。恐怖感を感じる人もいる。	震度 6強 立っていることができず、はわないと動くことができない。耐震性の低い木造住宅では倒壊するものが多い。
震度 4 かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。眠っている人の、ほとんどが目覚めます。	震度 7 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。耐震性の高い木造住宅でも、傾いたり大きく破壊するものがある。

液状化現象って？

液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地層などが地震により激しく揺られると、土の粒子が水と混ざり合って、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。川西町には河川沿いに広がる低地部が多いため、液状化の危険性が高いと考えられます。

